



2022年6月21日

各 位

会 社 名 **株式会社 ヨロズ**
横浜市港北区樽町三丁目7番60号
代表者名 代表取締役社長 平中 勉
(コード番号 7294 東証 プライム)
問 合 せ 先 取締役 佐草 彰
(TEL:045-543-6802)

東海地区連結子会社の新工場建設に関わる誘致協定書締結のお知らせ

当社は、岐阜県安八郡輪之内町との間で、東海地区新工場(以下「新工場」といいます。)の建設地となる用地の取得について正式に合意し、本年6月21日に誘致協定を締結いたしました。

これは本年2月9日に「東海地区連結子会社の新工場建設および移転に関するお知らせ」にてお知らせいたしました当社の事業計画に基づくものです。

新工場は2024年に稼働する予定で、今後の建設や事業活動にあたっては、「環境」に最大限配慮し「地域との共生」により、地域の発展及び防災その他安全安心に寄与するよう努めてまいります。当社はこうした取り組みを通してすべてのステークホルダーの皆様から信頼され、また皆様の共同利益の向上を計ってまいります。

1. 新工場の建設目的と特徴

当社は2021年度から2023年度の中期経営計画『Yorozu Sustainability Plan 2023』(YSP2023)において、事業環境の変化にも対応しうる安定した収益基盤を確立するための柱として「適正な生産能力レベル」と「強い現場の再構築」を掲げました。これらの取り組みの一環として新工場では、プレス内製の拡大、生産の集約、工程レイアウトの見直し、最新鋭の超厚膜塗装設備の導入などを通じて、高い品質とコスト競争力を有する工場として「ものづくり」の強化を図ってまいります。

加えて、グローバルで脱炭素社会への対応が求められる中、自動車業界においても部品製造時のCo2排出量を、部品採用の評価に加える動きが加速化していることから、当社においても2040年までに100%カーボンニュートラルにチャレンジするという目標を「ヨロズグローバル環境ビジョン2040」として策定しております。その具体的な施策の一環として新工場における生産工程では、Co2排出量を実質ゼロとする体制にて製品を生産いたします。また、その生産と稼働においても、太陽光発電による再生可能エネルギー、カーボンニュートラルな燃料熱源を導入し、完全にグリーンな環境で運営することで、輪之内町の皆様と共に環境に優しく快適な街づくりに取り組んでまいります。

このように当社は、この新工場でカーボンニュートラルな部品をいち早く供給できる体制を整え、受注拡大につなげるとともに、競争力向上と社会課題の解決に向け取り組み、従業員・お客様・地域の皆様を含む全てのステークホルダーにご満足いただける工場運営を目指してまいります。

2. 決定した場所

- ①建設地 : 岐阜県安八郡輪之内町楡俣
(あんぱちぐん・わのうちちょう・にれまた)
- ②アクセス : 名神高速道路
安八スマートインターチェンジ 1.6km
JR 新幹線 岐阜羽島駅 5.5km



3. 締結式の様子

2022年6月21日、輪之内町役場にて、誘致協定書の調印式を行いました。



左から ヨロズ 代表取締役 平中勉、木野輪之内町長

4. 今後の見通し

本新工場の建設に伴う2023年3月期の決算に伴う影響はございません。
今後開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上